

政務活動（参加・実施）報告書

令和 6 年 11 月 27 日

会 派 改革フォーラム

参 加 者 牧田 俊之

政務活動先 (目的地)	① 北海道帯広市（帯広市役所） ② 広尾郡大樹町（インターステラテクノロジズ社）			
開催団体等				
政務活動期間	令和 6 年 11 月 7 日（木）～8 日（金）			2 日間
政務活動項目 (名称等)	① 中心市街地活性化に向けた取り組みについて ② 地域関連企業との関わりについて			
政務活動参加者	牧田俊之	首藤孝治	松井雅宏	計 3 名
全体参加者数				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	① 「中心市街地活性化に向けた取り組み」について 帯広市は明治の終わりに鉄道が開通、大正時代に農作物の集積地となり、金融、商業、サービス業が発展してきました。 平成以降は、駅南側に大型商業施設、文化ホール、図書館等都市整備が拡大しました。人口については昭和 30 年以降郊外部の宅地造成に伴い中心市街地は大きく減少しました。16,000 ⇒ 約 3,000 人 平成 19 年北海道では最初の国認定となる「帯広市中心市街地活性化基本計画」(第 1 次)を策定しました。現在第 3 期の計画が進行しており、次期計画(R7～)に向けての方向性についても伺うことができました。 他都市では考えられないような思い切った補助額、優れた提案には補助率アップ、総取りシステム、協議会がフォローアップ等関係者を巻き込むスキームを構築しております。 帯広駅周辺は古さは感じませんが「藤丸百貨店」「長崎屋」の閉店等商業施設の撤退が続いています。〔時代にあわせて街の姿は変わる、かつて中心市街地は住民が必要とするものが集まっていた、ネットで何でも買えるこの世の中で、中心市街地で必要なものは何かを考えていくことが重要。〕苫小牧の駅前ビジョンの取組の議論のポイントへ活かしたいと考えております。			

	② 広尾郡大樹町〔インターステラテクノロジズ株式会社〕 沿革 2006 年 SNS 株式会社内の一事業としてロケット開発開始 2009 年 植松電機の協力を得て拠点を赤平市に移す 2016 年 子会社のインターステラテクノロジズ吸収合併変更 2019 年 MOMO3 号日本の民間ロケット初の宇宙空間到達 2020 年 小型ロケット ZERO エンジン燃焼試験実施 現在は小型人工衛星打ち上げロケット「ZERO」の開発をしています。高度 2,000Km 以下の低軌道へ人工衛星を運ぶことをミッションとして世界中からの受注を画策している。自社開発の通信衛星を運ぶことも計画している。1 トン近い重量のものを宇宙へ運ぶために必要なエネルギーが膨大なことは理解できた。できるだけ内製での調達を目標にしている、部品をつくる工作機械や組立スペースなども見学させて頂きました。「ZERO」は全長 32m と「MOMO」の 3 倍以上ですので部品も大きく想定外の事が色々発生しているようでした。社員はエンジニアが多く、設計や製造はできるが作ったものを運ぶ意識が無い。運搬をどうするのか考えていないので、その段になって対応しているのが現状。ロジスティクスのエキスパートがいてくれると良いのですが……。造作物としては専用品が多く精度もかなり要求度が多いです。可能性が高い部品としてはインコネル（ロケット用によく使われる部材）の加工が出来ると道内の調達率も上がり企業競争力も上がると考えられるので企業の意向を確認したいと考えています。 先端技術を開発している企業が大樹町で頑張っている姿、エンジニアや現場の加工組み立てしている技能員、みんなキラキラ輝いてまぶしかった。様々な場面、機会を通じて支援していきたいと感じました。
	資料名（会派保管） 帯広市 ・帯広市の中心市街地活性化に向けた取り組み
会派内回覧	   

(様式 3)

政務活動参加報告書

令和 6 年 11 月 27 日

会 派 改革フォーラム

参 加 者 松井 雅宏

政務活動先 (目的地)	オンラインセミナー(会派控室)				
開催団体等	(株)廣瀬行政研究所				
政務活動期間	令和6年11月13日 10:00 から 13:00			1 日間	
政務活動項目 (名称等)	適正な議員定数の決定手法を考える				
政務活動参加者	松井雅宏				計 1 名
全体参加者数	11名				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	講師の元全国市議会議長会法制参事の廣瀬和彦氏から、議員定数と人口減少、議員定数の推移と議員報酬の関係性、投票率低下となり手不足、アンケート調査からみる議員定数への住民意識、議会の権能と議員定数の6つの角度からの議員定数算定手法について学ばせていただきました。 苫小牧市議会でも、会派代表で構成する議会改革検討会において、議員定数の在り方について協議を重ねてきておりますが、議員の削減と現状維持の意見に分かれ、会派によっては内部の意見が分かれています。会派もあり、協議の着地点が見いだせずしております。 そこで、11月20日に議員全員から「議員定数の削減」に関し意見聴取する全員協議会の開催に向け、この度のオンラインセミナーで得た知見を全議員協議会の議論に参考にさせていただきました。 全員協議会での議員定数に関する議論では、何人が適正化という基準はなく、各議員が持論を述べるに留まりましたが、私からは過去の36議席から現在の28議席の定数減によって市議会の権能や機能は低下していないこと。そして、市民が議員定数についてどのような考えを持っているのかという市民アンケートの実施を提案させていただきました。				
	資料名(会派保管)	「適正な議員定数の算出方法を考える」			

会派内回覧

